

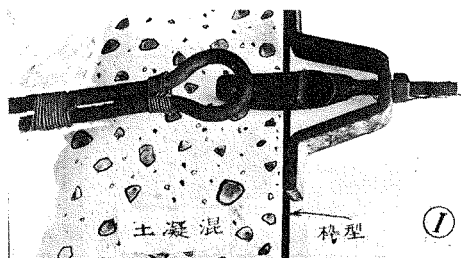
型枠を締め付ける便利な工具

良き工事をするには着手から竣工迄の準備と設備が用意周到に出来てをらねばなりません、工事設備の或一部分だけが新式の設備であつても之に關連した全體の設備に缺けた處があつたら、工事能率が擧らぬのみならず、工事の途中で必ず手違ひが出来たり、思はぬ失敗を生じます。此事は鐵道省建設局の機械電力會議などでも極言してをられます。

岡部博士が横濱港で施工中の12米岸壁用の鐵筋コンクリートケーソンは實に完全な工事設備が出来てをります、此所に紹介するのは其中の一小工具に就てありますが、各地で應用して最も有益なものと思ひます。

使用法はコンクリート内に埋込まれる鐵筋の兩端を鐵製型枠から3吋位の處で環狀に曲げ其れに型枠の外からフックボルトを引掛けてある、此フックボルトは型枠面上で場

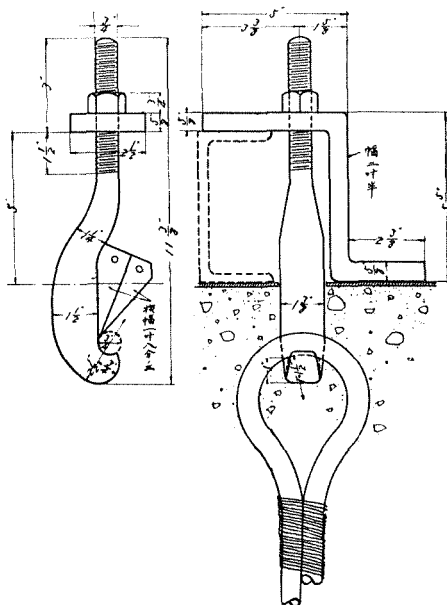
(1) 型枠締め付用フックボルト圖
(1) Hook Bolt for Fastening Concrete Form.



所により夫々適當な形をした坐金を通じてナットで締め付ける様になつてをる。コンクリート硬化後適當の時期に此フックは外される。外される時、フックの這入つてをる3吋程の深さはコンクリートが剥がされるから、直にセメントの強いモルタルを填充しなければならぬ。

(2) フックボルト構造詳細圖
(2) Detail Dimensions.

型枠締め付用フックボルト



岡部博士と混凝土工事

横濱港の造函船渠にて目下製作中のコンクリートケーソン工事は學ぶべきものが多くある。其設計は岡部博士の特種設計で知名なものであるが、特に施工法に於て鐵製型枠の組立、取外し、及び鐵筋の組立等に新しき多くの考案が施されてをる。

實用的なる此等の工法は、多少でもコンクリート工事に關係しつゝある人の必ず見學せ

られん事を希望するものである。尙ほ次は岡部博士の卓上小説である。

シュートを利用する事は現在のコンクリート工事では當然すぎる程に其工法の經濟なるを認められて來たが、之は大なる疑問である。

シュート利用は工法としては經濟であるが、コンクリートの強度としては頗る不完全なものが出来てをるのではないかと思はれる、水の多いコンクリートをタワーの上から